

令和 6 年 第 3 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和 6 年 3 月 22 日（金） 午後 2 時 00 分
- 2 招集場所 大河原町役場 2 階 第 1 会議室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、片倉亜寿香委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
櫻田尚 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、小野寺淳一 学校教育専門監
- 5 開 会 午後 2 時 00 分
- 6 令和 6 年第 1 回教育委員会定例会会議録の承認について
鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。
舟山委員、一盃森委員 署名。
- 7 教育長報告
 - （1）一般事務報告
報告第 1 号 令和 6 年第 1 回大河原町議会定例会（3 月会議）の結果について
教育総務課長、生涯学習課長より説明。
丹 羽 委 員 | ゴムチップの話。大河原小学校のグラウンドを卒業式の日に横断しました。
コンクリートのように地面が固かった。子どもたちが心配。改善に費用がか
なりかかるのであれば、国や県の助成金があれば良いと思う。
 - 報告第 2 号 県費負担教職員の異動状況について
教育長より説明。
 - （2）専決事務報告
報告第 2 号 専決処分の報告について
（令和 5 年度大河原町一般会計補正予算（第 1 1 号））
（令和 6 年度大河原町一般会計予算）
教育総務課長、生涯学習課長より説明

8 議 事

議案第3号 学力向上指導のための任期付教職員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第4号 学校教育事務補助員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第5号 在学青少年教育相談員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第6号 おおがわら子どもの心のケアハウス職員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第7号 特別支援教育支援員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第8号 スクールサポートスタッフの任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第9号 学校図書司書補助員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第10号 部活動指導員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第11号 学校給食費管理事務補助員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第12号 令和6年度学校給食実施計画について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第13号 大河原町駅前図書館司書の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第14号 社会教育指導員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第15号 部活動地域移行コーディネーターの任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

議案第16号 学校開放事務補助員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告

1 惜 ご退職 佐藤亨校長先生 遠藤和弘校長先生

本町の2名の校長先生のご退職。佐藤亨校長先生は38年間、遠藤和弘校長先生は35年間教育界にご貢献いただいた。

2 令和5年度の取組に感謝申し上げます

校長先生方には、知徳体のバランスの取れた教育活動の創造にご尽力いただいた。

3 令和6年度の大河原町教委の主な事業

学校に関する主な事業の説明。

4 令和5年度コミュニティ・スクールの状況

各校の意見をまとめたものを説明。学校も変わらなければならない。地域の皆様の意見を取り入れながら進めていく。

5 令和5年度国際交流事業（中国交流）

オンライン交流。各校特色ある取組の紹介。中国の中学生の英語力が高い。

6 私が大切にしている10のこと

「何が起こってもゴリラのように泰然自若」（山極壽一）

味方を作らず敵を作るな。息の合わない人とタッグを組む。孤独はチャンス。など、心にゆとりを持たせてくれる話である。

7 生成AIを使う前に

子供たちには、「ドリルやテストなどの問題を解くときは、生成AIを使わない」「調べ学習では教科書や本で調べ情報を集めておく。確認するときに生成AIを使う」など、指導する必要がある。

8 「3分類」の業務、手放せますか？

登下校の対応。波田小の三輪校長の話では、登下校対応は、「学校の管理下の問題で法的にも学校が対応せねばならない業務であり、関係者のいずれもが気持ちを寄せて子供を見守っていくべき学校の一つの部分」と明確に答えている。学校もすべてを任せるのではなく、PTAや地域といっしょに行っていく必要がある。

9 「で、これから君はどうしたい？」と聞く

保護者対応トラブルの出口は、子供の意見を聴くことが大事である。

10 ICT活用の充実に向けた教員研修「岩小GIGA研修」の取組

子供が主語となる授業を展開するためには、デジタル掲示板、デジタルホワイトボード、テキストクラウドなど様々な汎用的クラウドアプリケーションの習熟が必要。全職員に広めていただきたい。小学校では、オンライン化を進めていただきたい。

11 学校部活動の地域移行

熊本市の遠藤教育長の論説。民間主体となった場合の様々な課題を整理し、「部活動を維持しつつ」新たなスキームを構築しようとする考え方については大いに参考にしたい。

12 WBC準決勝メキシコ戦。9回裏

(1) 栗山ノート2 (栗山英樹)

(2) 世界一のベンチで起きたこと (城石憲之)

WBC 準決勝の栗山監督が決断された話。校長として、栗山監督のように、判断に迷ったり悩んだりしたこともあるが、そのような判断、決断こそが、学校のトップリーダーとしての力量形成の重要な要素になる。

13 その他

各校の事業、交流大会の様子について資料により説明。

舟 山 委 員	P23 岩沼小の話。3つの研修の在り方が出ているが、例えば、子供たちの朝の読書活動。短時間だから良かった。先生方も短時間で少しずつ学べばスキルアップする。素晴らしい取組である。
一 盃 森 委 員	部活動の地域移行の話。学校部活動の地域移行。学校教育の一環としての部活動を地域と連携し進めていく。この認識でよろしいか。学校から切り離す考え方ではない理解で良いか。
鈴 木 教 育 長	学習指導要領では、現段階では教育活動の一環として扱うと明示されている。学校教育の一環として、平日の部活動は学校が中心となって進める。土日については、はっきりと社会教育と学校教育の区別しているわけではないが、外部指導員に指導いただく場合は社会教育扱いとする。 まだ、学習指導要領で示されていないが、完全に学校から切り離された場合は、受け皿の確保や担当が町長部局となるなど対応が出てくる。 このような事も踏まえ、現段階では、土日の休日については、地域の指導者をお願いする社会教育の扱いである。
一 盃 森 委 員	現状では、切り離すのではない形ですね。 予算。地域と連携しての社会教育活動の位置付け。外部指導員の謝金が480万の内訳を教えてほしい。
木村生涯学習課長	1時間当たり1,600円で休日3時間を上限とし、年間の活動は40回以内としている。今年度は24名分を予算計上。
一 盃 森 委 員	文化部関係。地域移行の情報交換会で、仙台では教育委員会主導ではない、仙台経済同友会で進めている。自治体ごとに地域ごとに継続可能なことからやり始めるのが大切。当町は、えずこホールがあるので、文化部についても安心である。

木村生涯学習課長	角田市での国の補助で実証事業の取組を説明。部活以外の取組も地域移行に組み込んだが参加者がいなかった。思うように進んでいない状況。
	各市町でのそれぞれの課題があり、進んでいない。
一 盃 森 委 員	角田市などは、アイリスや仙台大学との連携が考えられるが、それでも難しいのか。
木村生涯学習課長	角田市では、フクシエンタープライズが事業と一緒に進めている状況。フクシエンタープライズさんが仙台大と繋がりがある。指導者の確保はできている。
一 盃 森 委 員	やはり、受益者負担があると集まらないですね。
丹 羽 委 員	子供たちの教育は、机上の空論ではなく、具体的にどのように接していくかが大事。卒業式に出席した時に、子供たちが一斉に返事を返した。すばらしかった。返事ができる子、挨拶ができる子。恵まれた環境じゃないとできない事である。大河原の先生が努力しているのが分かる。
	金ヶ瀬中学校の卒業式で、遠藤校長先生がこんな話をしていた。「挑戦している内は、失敗はない。挑戦を諦めた時、失敗に繋がる。」と、生徒に言葉を送っていた。その他にも、須江監督の言葉から、「人生は敗者復活戦である。」という言葉と話していた。楽なことではない。苦しいことや辛いことがあるのを教えていかなければならない。間違いは学びである。
片 倉 委 員	P22 の子供たちの問題の話で、以前に、登校できない子の話があったが、年度が替わりその後どうか。
小野寺専門監	担任と保護者や子と良好な関係である。4月から新たなスタートを切れれば良い。
片 倉 委 員	学校生活を楽しんでいただきたいと思います。
丹 羽 委 員	子供の問題は必ず各学校ある。いかに早く対処するかが大切。不登校の子について、親への対応が難しい。担当の先生が苦慮されている。何か、良い方法などないか。
小野寺専門監	文部科学省では、学校以外の学ぶ場を認めている。子供が引きこもってしまうのが問題。様々な方法で学ぶ方法があるので、保護者の皆さんにも分かっていたら、子供の選択で選べて、学びを続け、いつでも学校に戻れる環境が大事である。
丹 羽 委 員	親が安心できる支えがあるのが理想である。

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

教育委員会事務局の人事関係について説明。

令和6年度行事予定について説明。

１０ 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和 6 年 4 月 24 日（水）午後 2 時から開催する。

１１ 閉会宣言 午後 4 時 00 分

令和 6 年 4 月 24 日

署名委員

署名委員